



MESSAGE FROM THE PRINCIPAL'S OFFICE

校長室だより 2月号

河内長野市立高向小学校 令和6年1月31日

先週は朝の気温がマイナス2度、翌日もマイナス1度と寒い日が続きました。そんな中でも、子どもたちは元気に持久走に取り組み、生活科の凧揚げを楽しむなど、体験の中で学んでいます。また休み時間には読書やお絵描き、午後の暖かな陽射しに窓際で日向ぼっこをしたりと、友だちとのんびり過ごす様子も見られます。

学習が1年間のまとめに入り、6年生とのお別れ集会や新1年生を迎える準備も始まって、どの学年も何かと活動の幅が広がる時期です。ふだんの生活では好きなことに没頭したり、ほっとリラックスできるような時間の使い方も声かけしてあげたいものです。

4年ぶりに、通常のフリー参観日となりました。

昨日はご多用の中を、フリー参観にご参加いただきありがとうございました。各教科学習の様子、マラソン大会、お別れ集会の合唱・合奏練習、1年生食育出前授業、4年生10才ありがとうの会、高学年ふれあい人権講座など、子どもたちがそれぞれにめあてをもって取り組んでいる様子を見ていただけたことと思います。

ご家庭でも、お子さまとともにこの1年間の成長をふりかえり、良いところを大いにほめて、進級・進学の花春に向け、自信とやる気につなげていただけたらと思います。



酒井正人先生の「ふれあい人権講座」。パラリンピック水泳チーム指導の経験から、障がいのある選手の活躍や、それを支える人・生き方について貴重なお話を聞きました。



4年生 10才ありがとうの会。自分たちで工夫し力を合わせて練習してきた成果が、のびのびと発揮されていました。

○子どもの成長とマラソン大会 — 身体を動かすと気分がスッキリ。自然とやる気も出ます —

寒い冬には、校内で遊ぶことが増えがちです。コロナ禍前と比べると、季節関係なく外遊びを積極的にする姿が減っているようにも感じています。雨の日は嫌でも校内で過ごすので、晴れた日にしっかり外で遊ぶことが、遊びの幅や仲間の輪を広げることへつながります。特に成長期の子どもたちにとっては、この寒い時期に外でしっかり身体を動かして、理屈抜きに心が晴れ晴れする感覚を味わうことが大切です。(高向小保健室『ほけんだより2月号—ストレスとうまく付き合おう—』も、ご参照ください。)



天候に恵まれたマラソン大会。たくさんの方から熱い声援をもらいパワーアップ。自分の力を出し切る心地よさを感じて、また一回り大きく成長していきます。

さて、初めて長休みに全校で持久走をした日、運動場から帰りがけの子どもたちから「ねえ校長先生、なんでマラソンなんかするん」と聞かれました。口々に「寒いやん」「しんどいやん」と言いつつ笑顔いっぱいです。どの子も大変なことをやりきり満足した表情ですので「ようがんばったね」と応えると、「7周やったわ」「うちは6周」と言いながら足取りも軽く教室に帰っていきました。7周、6周とはなかなか良いペース。きっと「なんでマラソンなんか」の理由は、身体を通して学んだことで理解できていたのでしょう。教室ではマラソンカードに色塗りしながら、友だち同士認め合い励まし合って、次の目標を決めている姿がありました。

○子どもたちを育む、学校・家庭・地域の連携 — ご協力ありがとうございました —

一方で教職員は2学期より、4年ぶりのマラソン大会に向けて、長距離を走り慣れていない子どもたちを安全に導いていく方策を立てました。取組みをスタートさせた1月は予想以上に雨が強く、運動量を減らさないために各先生が体育館での授業を工夫しました。どの行事でも第一に、子どもたちにとって価値ある学びにしたいという思いがあります。

迎えたマラソン大会本番は、子どもたちが保護者のみなさまの声援を受けながら、日ごろの体育や持久走の成果を発揮して精一杯がんばる姿をたくさん見ることができました。期間中、ご家庭でも体調管理や励ましのお声がけに心を配っていただいたことと思います。また大会運営にあたり、学校運営協議会のみなさまには、先週の試走も含め寒中を長時間、子どもたちの安全確保のために各ポイントで見守りをいただきました。外周コース近隣のみなさまにも、あたたかなご理解とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

このように、学校・家庭・地域が互いに連携することで学習の場が整い、豊かな体験を生むものとなって、子どもたちがより健やかに育まれていくのだと実感しております。みなさまのご協力に心より感謝申し上げます。今後とも、本校の学校教育活動に、ご理解とご協力をいただけますよう、よろしく願いいたします。